

日吉台の福祉

発行 日吉台学区社会福祉協議会

ホームページ <http://www.geocities.jp/hiyoshidainohukushi>

日吉台 大津っ子夢・未来体験行事を終えて

実行委員長 木村 正徳

日吉台の皆さん、行事にご参加頂きありがとうございました。

例年、各種団体が中心に個別で行事を主催・開催していましたが、今年は子供さんからお年寄りの方々まで、全学区民の皆様に参加して頂ける内容の行事として、有志団体を中心に開催しました。

7月の「ラジオ体操」から、今年1月の「どんど焼き」まで、昔からの伝統行事を中心に開催し、全行事の参加者総数は3,100名余りの多数にのぼりました。この行事の目的は、伝統的行事がない日吉台において、住民が力を合わせて楽しい恒例行事を実施し、日吉台を健全で、夢のある町づくりに努めることです。

ご承知のとおり、少子高齢化が進み、近年、自治会員数が益々減少しているなかで、日吉台に住む人々が、「日吉台に住んで良かった！生まれ育って良かった！」と言えるために、全学区民の助け合いと協力は不可欠であります。「共に心豊かに生きたい」との願いは私だけでなく、皆様の願いも同じではないでしょうか。

今、全事業を終えて、「ラジオ体操」では、里帰りされていたお母さんが子供さんと参加され、「是非、来年も・・・必ず参加します」との言葉！ 「どんど焼き」では、年配の方から「これはこのようにして・・・」とご指導！ 子供さん達からは凧揚げ、もち焼きで「めっちゃ楽しかった」との感想。

今、今だから、次世代を担う子供さんに夢を託し、世代を超えて共に「町づくり」をして行きたいと思えます。今年も有志の方々を中心にさらにチャレンジして、伝統恒例行事になればと「夢・未来」の実現を願っています。

学区民の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



日吉台地域ケア会議の報告

去る2月5日、本年度3回目の日吉台地域ケア会議として、「ケアタウンからさき」の大江芳征所長を講師にお迎えし、「認知症」についての講座を開催しました。

その主な内容は、

① 認知症とは…

記憶障害が起こり、時間や場所、人がわからない。行動したことを忘れる。これらのことの自覚が乏しい。など色々な症状が出て、生活に支障をきたす。

② 認知症の人への接し方

相手と同じ目線で話したり、聴いたりし、相手の気持ちを受け入れ、聞き上手になる。⇒共通の話題を見つける。暖かいまなざしと優しさで接し、みんなで支え合うことが大切。

③ 認知症の予防（以下は他からの情報を含めています）

完全な予防方法はまだ無いが、バランスの摂れた食事や適度な運動をする。喫煙や過度の飲酒をしない。趣味を持ち、多くの分野に興味や関心を持って行動する。おしゃべりをする。⇒脳を刺激する。認知症を早期に発見し、専門医による早期治療を行う等々により、ある程度進行を止めたり、遅らせることができるので、これらを実行し楽しい人生を送りましょう。

ふれあいサロン日吉台の活動のご案内

◎サロンの結果（市民センターで開催するふれあいサロンは「サロン」と称します）

☆1月28日（水）「コールすずかけ」さんのコンサートと喫茶 参加者88名

今回は会場を大会議室に移し、日吉台のコーラス「コールすずかけ」の皆さんの美しい歌声を聴き、その後はおいしい“ぜんざいやコーヒー”をいただきながら会話が弾みました。



☆2月25日（水）おおつ光ル君体操、健康相談と喫茶 参加者55名

午前中は雨模様の天気でしたが、午後は雨もやみ大勢の方々が参加されました。おおつ光ル君体操は、大津市健康長寿課の指導の下に行われました。

体操の後、「サロン」の運営協力者の方々が真心こめた大根炊きを美味しくいただきました。比叡すこやか相談所の土蔵保健師さんによる健康相談も行いました。



◎ 3月、4月の予定

《サロン》

3月25日(水) 13:30~15:30 「夕扇会」の新舞踊・喫茶

4月22日(水) 13:30~15:30 イベント検討中・喫茶

《おでかけサロン》

3月18日(水) 市民センター9時45分集合 門前町散策・会食

4月8日(水) 比叡山坂本駅9時30分集合 花見(疎水公園)

※寒さが厳しい1月と2月はお休みにいたしました。ようやくおでかけサロンが再会します。皆様のご参加をお待ちしています。詳しくは公民館広報紙「花のたより」をご覧ください。

第5回福祉のまちづくり講座「防災講座」の結果

各地で家屋の火災と住民の悲惨な事故のニュースが相次いでおります。普段からわが家・わが町を火災から守るといふ防災意識を地域住民一人ひとりが持つことをねらいとして、防災講座を開催しました。

この講座は、去る2月7日(土) 13:30より、日吉台市民センターにて自主防災会・日吉台分団・社協が共催し、大津市消防局中消防署西分署の署員を講師に招き、30名の参加者を得て行いました。

《講座の主な内容》

- ① 火災はちょっとしたミスで発生するので、早く発見して早く消す初期消火が大切
- ② 火災は火よりも煙が怖い
- ③ 一旦外へ逃げたあとは、家の中に物を取りに入らない
- ④ 人はパニックに陥りやすいので、落ち着いた行動が大切
- ⑤ 住宅火災から、大切な家族や財産を守るため、住宅火災警報器を設置する
- ⑥ 放火を防ぐために、家の周りは明るくし、また燃えやすいものを置かない
- ⑦ 放火を発見したときは、大きな声で協力を求めて初期消火にあたる
- ⑧ 必ず119番通報する

以上の注意点をわかり易く説明していただき、日頃からの各家庭における防火意識の大切さを改めて確認しました。



民生委員児童委員協議会よりお知らせ

振り込め詐欺対策

- 必ず儲かる、タダでもらえる等のうますぎる話には裏があると疑いましょう。
- 勇気を出して、き然とした態度ではっきりと断りましょう。
- 高額な商品等は、誰かに相談してから購入しましょう。
- 契約書をよく読んでからサインをしましょう。
- クーリング・オフ制度を覚えておきましょう。

※契約締結後も、一定の条件の下で、消費者から一方的に契約を解除することができる制度です。



振り込め詐欺対策

- 振込みを要求する電話があった場合は、一旦電話を切り、本人や関係者等と自分から連絡を取って事実を確認しましょう。
- 弁護士事務所名等を聞き、実在しているか、その職員がいるかどうかを確認しましょう。
- すぐに振り込まず、家族や知人、警察に相談しましょう。
- 税務署や国税局では、還付金受け取りのために金融機関やコンビニエンスストアでのATM機の操作を求めたり、納税のために金融機関の口座を指定して振込みを求めることもありません。



[地上デジタル放送への移行に伴う詐欺] にご注意ください。

地上デジタル放送への移行に伴い、工事業者等を装って、高額な工事代金を要求する詐欺事件が、全国で発生しています。

手口は…

- 総務省職員、テレビ局職員、家電量販店従業員などを名乗る。
- 「アンテナレベルの点検に来た」「地デジ放送のための設定にきた」などと言う。
- 地デジ対応のために必要な物だと言い、高額な商品を売りつける。
- 受信工事やテレビの調査を実施したと言い、代金支払いを求める。
- 総務省やテレビ局を名乗り、「地上デジタル放送切りかえ助成金が支給するので、手数料を支払ってください」などと書かれた手紙を送りつける。

などというものです。

地デジ対応で、総務省やテレビ局、その関係機関がお金を請求することはありません。また、自宅を訪問し、地デジ対応のためのチューナーを高額で売りつけるようなこともありません。

このような請求などを受けた時は、すぐに支払わず、お近くの警察署または消費生活センターへご相談ください。

福祉事業賛助金のお礼

日吉台4丁目 高石 正明 様より福祉事業賛助金を頂戴しました。誠に失礼ながら、ご芳名を掲載させていただくことにより、お礼といたします。